

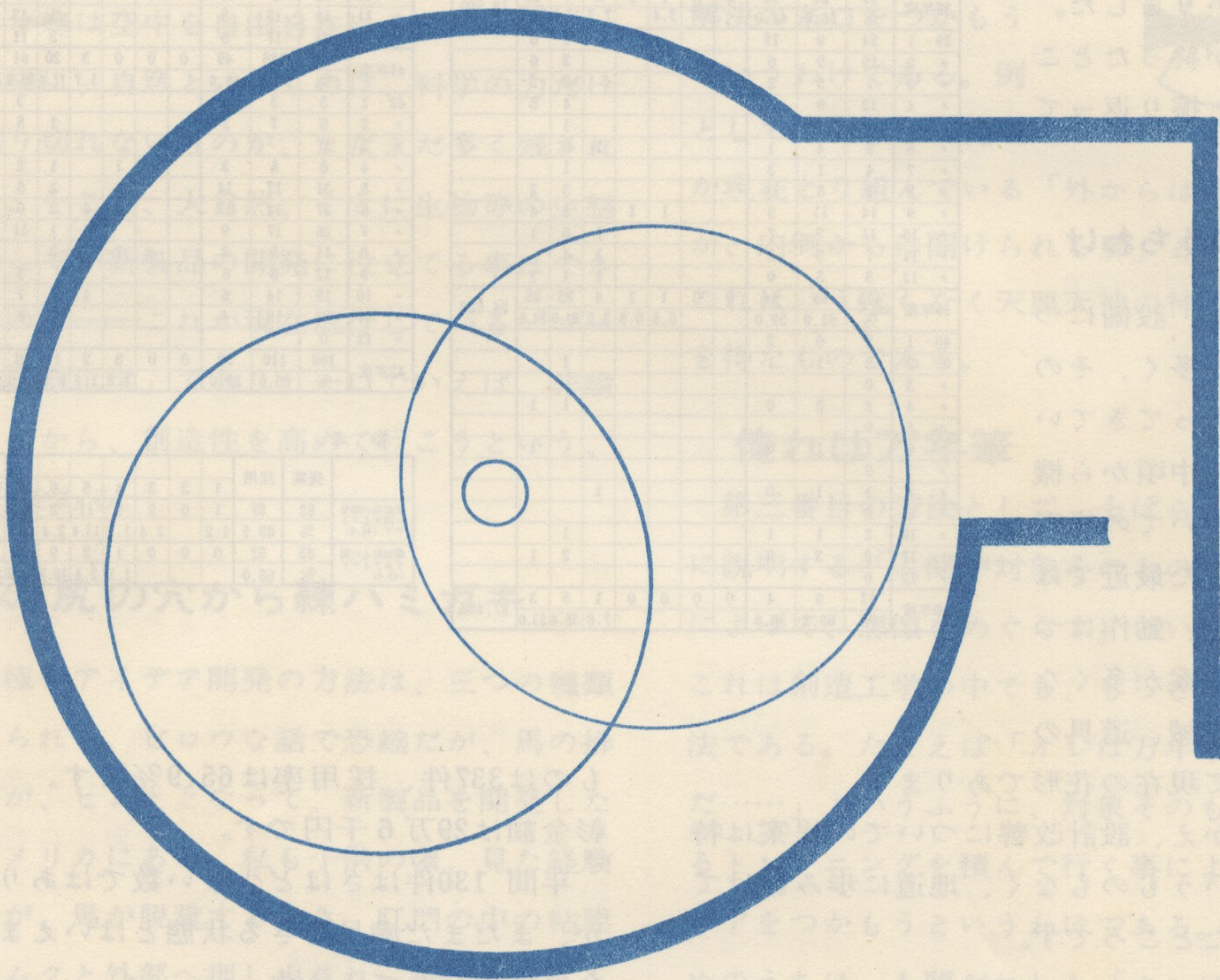


# IDEA

1968. 2.

17号

提案制度運営委員会 ・ 発行責任 企 画 教 宣



今期のテーマ

順調につくるには

目標をきめてから仕事をはじめることです

工程の組み方、作業のやり方をきめることです

もっとよい方法がありませんか？

ペトリカメラ株式会社

15-041'40"  
42'  
20  
49-017'14"

# 提案制度のあゆみ

## 我が社の提案総決算

### 提案制度実績報告書

我が社の提案制度も、発足以来、早いもので4年たちました。

その間、みなさんの旺盛な向上意欲と研究心に支えられながら着実に歩み続けてまいりました。

昭和42年が終わったところでちょっと振り返ってみましょう。

#### 案件内容のうちわけ

当初は制度、設備についての提案が多く、その後、徐々に減ってきています。代って中頃から機械、道具についての提案が目立ち、また最近では特に作業方法、動作についての改善提案が多くなりました。機械、道具の改善と合せて現在の花形であります。

それに引換え、設計改善についての提案は特にブームというものもなく、地道に歩み続けているといったところです。

#### 案件数と表彰額

提案案件の総数は511件に達し、採用された

ものは337件、採用率は65.9%です。また表彰金額は29万6千円です。

年間130件はさほど少ない数ではありませんが、まだまだ満足できる状態とはいえません。今後を期待しています。

これからもみなさんの力で、提案制度をもっともっと大きな力に育てて行きましょう。

43. 1. 10.

集計	提案	採用	結果内訳							表彰額	
			1	2	3	4	5	6	7		不
初回より	511	337	0	0	5	6	39	159	128	174	296,120
42年度迄	%	65.9			1.0	1.2	7.6	25.0	25.0	34.0	

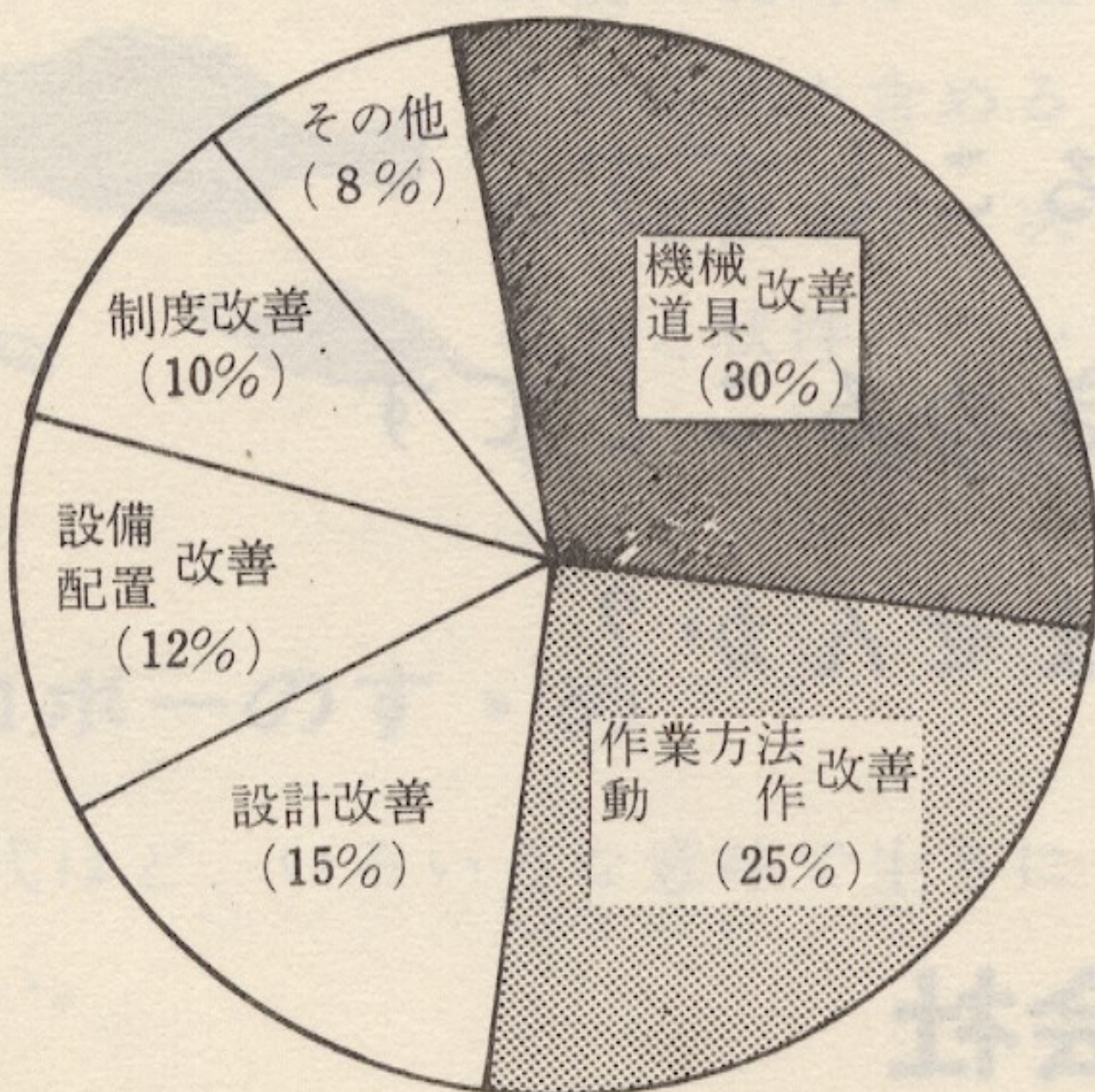
年度・月期	提案	採用	不採	採用等級内訳							表彰額
				1	2	3	4	5	6	7	
38・11	12	5	7					1		4	
" 12	29	18	11			1		2	7	8	
38年度	41	23	18	0	0	1	0	3	7	12	18,980
%	56.0	44.0				2.4		7.3	17.1	29.3	
39・1	24	9	15							3	6
" 2	15	9	6							3	6
" 3	7	5	2							2	3
" 4	12	9	3							4	5
" 5	3	1	2							1	
" 6	5	4	1					1		3	
" 7	4	1	3							1	
" 8	5	5	0							3	2
" 9	14	11	3			1	1			5	4
" 10	14	7	7					1		5	1
" 11	7	5	2							1	4
" 12	3	3	0							1	1
39年度	113	69	44	0	0	1	1	4	35	28	54,620
%	61.0	39.0				0.8	0.8	3.5	31.0	24.8	
40・1	2	0	2								
" 2	2	1	1							1	
" 3	0										
" 4	2	2	0							1	1
" 5	0										
" 6	1	1	0								1
" 7	0										
" 8	1	1	0							1	
" 9	0										
" 10	2	1	1							1	
" 11	3	3	0							2	1
" 12	0										
40年度	13	9	4	0	0	0	0	1	5	3	7,495
%	69.2	30.8						7.8	38.4	23.0	

年度・月期	提案	採用	不採	採用等級内訳							表彰額
				1	2	3	4	5	6	7	
41・1	0										
" 2	9	8	1						1	6	1
" 3	16	11	5						1	1	9
" 4	22	15	7						1	7	7
" 5	9	7	2						1	3	3
" 6	15	12	3					1	1	7	3
" 7	20	14	6					1	4	2	7
" 8	23	10	13					1	1	4	4
" 9	8	8	0						3	4	1
" 10	12	9	3						4	3	2
" 11	18	15	3						1	13	1
" 12	23	17	6						2	11	4
41年度	175	126	49	0	0	0	3	20	61	42	116,930
%	72.0	48.0					1.7	11.4	34.9	24.0	
42・1	3	3	0							3	
" 2	9	7	2						1	5	1
" 3	0										
" 4	8	5	3			1			1	2	1
" 5	31	17	14			1			2	6	8
" 6	27	14	13				1		2	6	5
" 7	26	17	9						1	11	5
" 8	11	8	3			1			3	4	
" 9	12	6	6							3	3
" 10	19	14	5				1			7	6
" 11	23	19	4						1	8	10
" 12	0										
42年度	169	110	59	0	0	3	2	11	51	43	98,095
%	65.0	35.0				1.8	1.2	6.5	30.1	25.4	

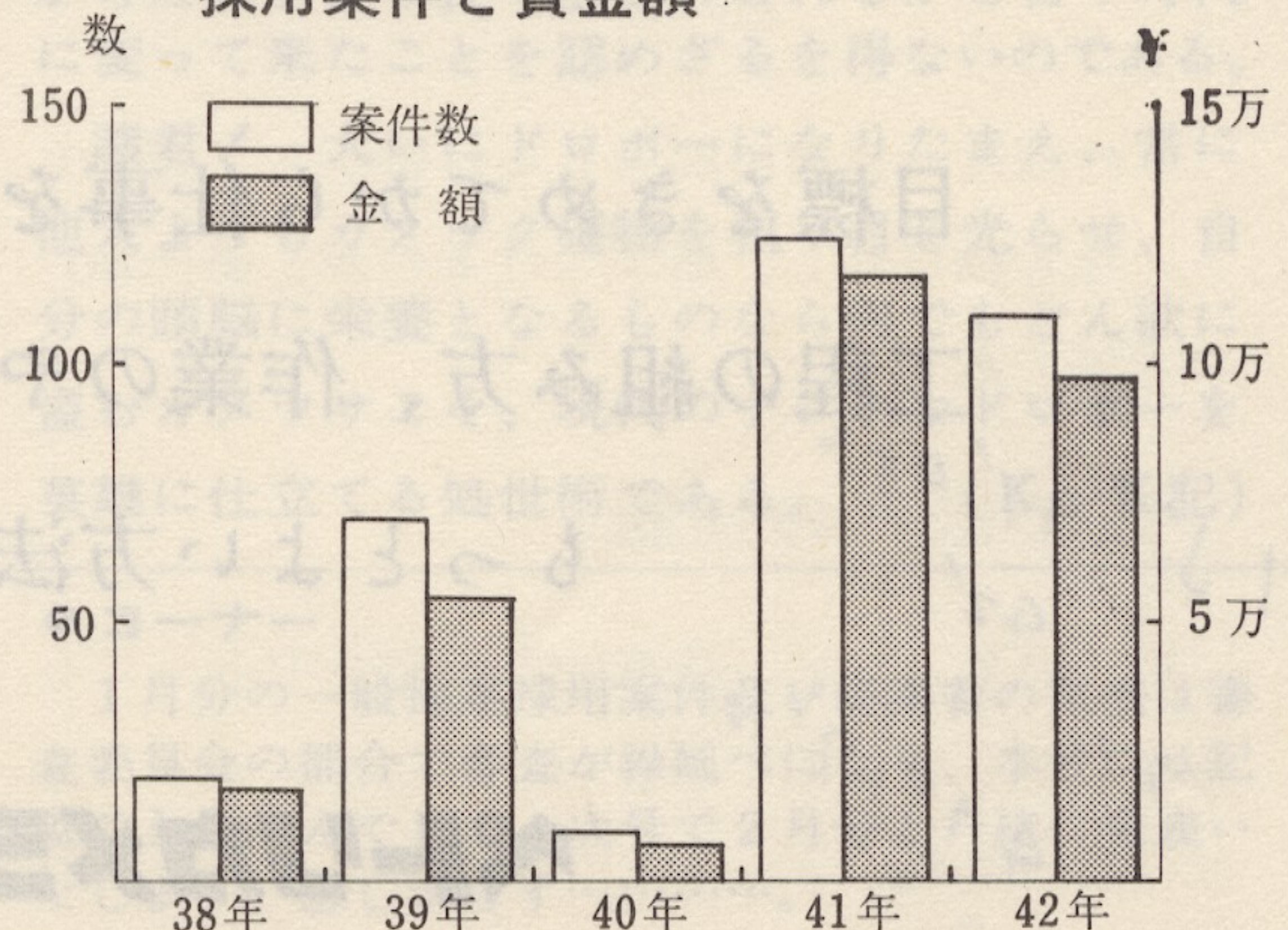
#### 参考

	提案	採用	採用等級内訳							表彰額	
			1	2	3	4	5	6	7	努力	
新製品の開発に関するアイデア (41.6)	82	57	1	0	2	1	11	2	40	51,600	
%	69.5	1.2			2.4	1.2	13.4	2.4	48.7		
塵埃防止に関するアイデア (42.4)	83	57	0	0	0	1	2	9	13	32	20,865
%	68.0					1.2	2.4	10.8	15.6	38.5	

#### 内容の傾向区分



#### 採用案件と賞金額



# それでもクマ蜂は飛んでいる

——ゴードンの創造工学——

ここに一匹のクマ蜂がいる。このクマ蜂は、御存知の様に太い胴体と、その胴体とは、およそ不似合の小さな羽根でとぶ。これを航空力学的にいえば、どういう事になるだろうか。絶対にとべるはずはないのである。ところが実際には、クマ蜂は空中を自由自在にとんでいる。

この様に、自然というものは、科学の力だけでは割り切れないものが、まだまだ多く残されている。そこで、大自然、ことに生物等の生態を観察して、新製品の開発に役立つ事はできないものか——これが現在流行している「ゴードンの創造工学」であり、一口でいえば、非論的なものから、創造性を高めて行こうという、“学問”である。

## 馬の尻の穴から練ハミガキ

この様なアイデア開発の方法は、三つの種類にわけられる。ビロウな話で恐縮だが、馬の排泄行為が、ヒントとなって、新製品を開発した例がアメリカにある。私も子供の頃、見た経験があるが、馬が脱糞するとき、肛門の中の粘膜がムクムクと外部へ押し出され、排泄が終ると粘膜は元へ戻って行く。このまったく合理的な機能？がヒントとなって、チューブの中の練り歯みがきを押し出し、手をはなすとひとりでに歯みがきが中へひっこむという新型のチューブが生れたのである。

この様に一見何の関係もない事から、直接ヒラメキを呼び起し、結びつけるのが、第一番目の方法である。

## 天の岩戸の物語

第二番目として、技術的に不完全であっても美しいあるいは楽しいといった様なイメージを思い浮べる事によってヒントを得ようとする方

法があげられる。かみくだいていえば、童話とか神話とかに出てくる話との類比をこころみているうちに、問題解決の糸口をつかもうというわけである。例としては、ある研究所が現在とり組んでいる「外からは開けられないが、内側からは開けられる扉」というのがある。これはいう迄もなく天照天神の神話からヒントを得たものである。



## 俺れは万年筆

第三番目の方法として、上げられるのが、次に説明する「人間が対象そのものになり切る事によって、想像をめぐらす」という事である。これは創造工学の中でも、もっとも興味深い方法である。たとえば「オレは万年筆だ、万年筆だ……」というふうに、対象そのものになり切るトレーニングを積んで行く事によって、アイデアをつかもうというわけである。もっとも初めのうちは、人間だれしも「オレは人間である、万年筆であるはずがない」と抵抗を感じて、なり切る事はむづかしい。ことに知識が豊富で、常に頭の中で考える事に秀れている現代人は、この「なり切る」事は不得手のようである。しかし、トレーニングを積む事によってそれの可能性になり「オレ(万年筆)は、いまみたいに細長い型で良いのか」というようにアイデアのヒントが次々とわき出てくるのである。

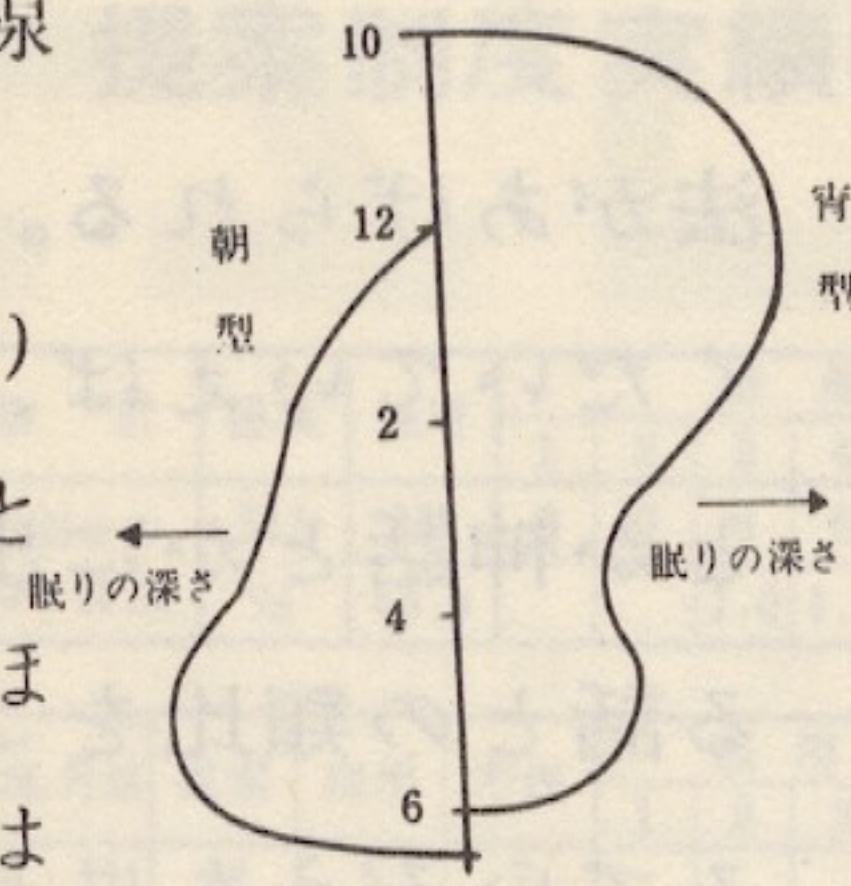
このように、アイデア開発法に一貫していえる事は、「既成の概念、考え方にとらわれず、もっと素直な気持で、童心にかえって物事を考えよう」という事であると信じている。

(T・H記)

## ナポレオンは宵型？

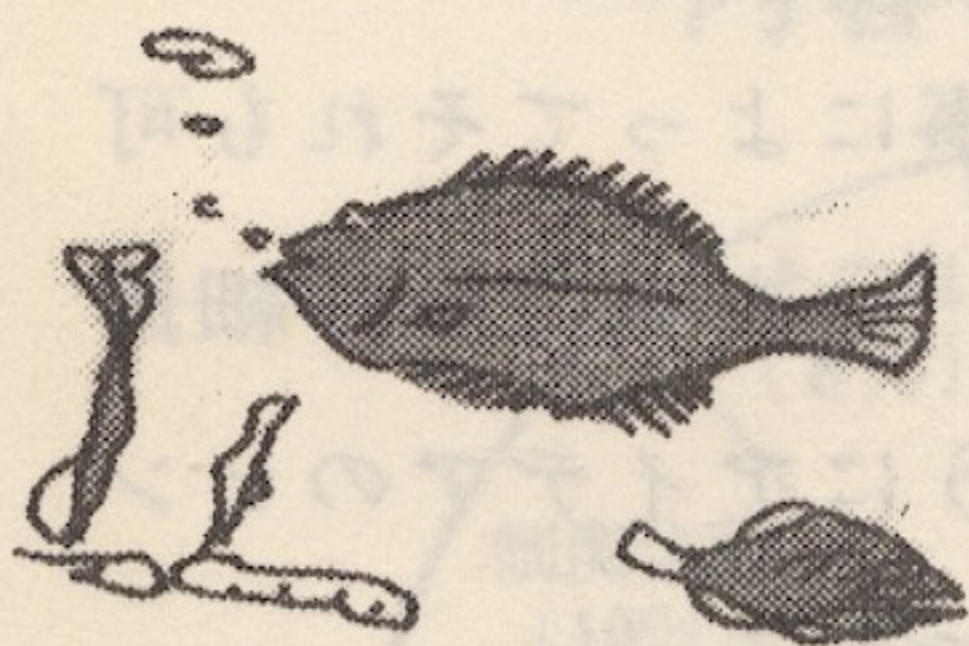
### ＝睡眠の深さ＝

睡眠の深さを測るには、最近  
は、脳から出る電流で脳波曲線  
をえがかせ、その曲線の型で、  
深さを調べるという方法をと  
ります。こうして調べると、た  
とえ8時間眠っていても、脳がほ  
んとに休息している熟睡の谷は  
そんなに多くないことが分りま  
す。ですから、この熟睡だけ  
をうまくつづけることができれば、極端にいえば  
睡眠の時間は、3時間でも5時間ぐらいい  
いことになります。



### 夜ふかしは2倍の損失

ナポレオンは、この熟睡の時間のつかみ方が  
うまかったのかもしれませんが。しかし普通の人の  
睡眠は、寝入ってから1～2時間でもっとも  
深くなり、ついで急に浅くなって、この状態が  
数時間つづき、明け方にもう一度すこし深くな  
って、目がさめるということになります。この  
眠りの深くなる時間を、物音などに邪魔されな  
いで、ぐっすり眠ることが必要です。神経質な  
人では、一回の睡眠中に、何回も深くなったり  
浅くなったりしますが、これではどうしても眠  
りの曲線の谷が浅く、なかなか熟睡の機会があ  
りません。眠りにつく時刻もまた、睡眠の深さ  
に大きく影響します。夜の12時前の1時間の睡  
眠は、12時以後の約2時間の睡眠に匹敵する  
といわれます。ですから早く寝ることは、深く寝  
ることの第一前提となります。



ことに睡眠時間のわくの中  
に夜の12時から朝の4時ま  
での時間を含めることは絶  
対に必要です。次号は睡眠  
の型と状件について話しま  
す。 安全衛生委員会

### ドロボーのすゝめ

現代ほど、いろいろな意味で生きにくい時代  
はない。

苛酷な生存競争に打ち勝ち、たくましく現代  
を生き抜くためには、今迄の甘ッチョロい処世  
術は何の役にも立たなくなって来ている。

己れの名譽を重んずることは、もちろん必要  
ではあるが、そんなきれいごとだけではこの現  
実は打ち破れない。

例えば菓子屋の店先から、チョコレートを1  
枚カッパラッても泥棒である。ところが誇大廣  
告でインチキ商品売りつけても、罪になるこ  
とは少ない。買った方も、この位のことは商売  
につきものだと思っている。

粗悪品を餌に金をふんだくったと同じである  
が、これが現代社会のドロボーの典型である。

### 現代はドロボー

他人の金や、品物を内緒で盗んでくるのはケ  
チなコソ泥に過ぎないが、現代に生きる巨大な  
ドロボーは、はるかにスケールが大きく、また  
盗むものも無限である。

つまり、現代企業こそ人々のサイフの中身を  
根こそぎカッパラう、大ドロボーである。利潤  
の追求の原型はあくまでもドロボーであり、出  
すものは屁も出さず、取るものは爪のアカまで  
と言う根性に由来している。

現代社会では、出来るだけ少ない“排泄”で  
少しでも多くの金やものをかき集めた者だけが  
勝者として残れるのである。

### ガメツク喰いつけ

要するに、企業は終身雇用の年功序列のぬる  
ま湯的社会から、生き馬の目を抜くドロボーの  
世界に変わって来ているのである。つまり現代の  
サラリーマンは誰が早く出世するかと言う時代  
からだれがより長く生きのこれるかと言う時代  
に変わって来たことを認めざるを得ないのである。

諸君！ 大いにドロボーになりたまえ、常に  
他人よりもガメツク獲物を狙う目を光らせ、自  
分の頭脳に栄養となるものなら何でもどん欲に  
盗むガメツサこそ、現代のチンケなドロボーを  
英雄に仕立てる処世術である。 (K・K記)

### ●コーナー

1月分の一般提案採用案件及び提案者の発表は審  
査委員会の都合で審査が繰延べになり、本号には記  
載できませんでした。次号で2月分と一緒に発表い  
たします。悪しからず……………。